



「硬化性ゲルを用いた関節軟骨損傷の治療」が 科学技術振興機構「産学共同実用化開発事業」に採択

【研究の概要】

国立大学法人北海道大学は、持田製薬株式会社と共同で応募した、独立行政法人科学技術振興機構（以下「JST」）の産学共同実用化開発事業（NexTEP）／開発課題「硬化性ゲルを用いた関節軟骨損傷の治療」（以下「本開発課題」）に7月28日付けで採択されました。

今後、JSTの支援を受け、持田製薬株式会社と共同で、関節軟骨損傷の治療の実用化に向けて開発を推進していきます。

本開発課題は、かねてより本学（代表研究者：北海道大学大学院医学研究科機能再生医学講座整形外科外科学分野 教授 岩崎 倫政）と持田製薬株式会社で共同研究を行ってきた、海藻由来多糖類物質のアルギン酸を軟骨修復治療材として開発するというもので、医療機器の製造販売承認を取得することを目標としています。

これまでに軟骨損傷モデル動物において効果を確認しており、今後、臨床試験を実施し、実用化に向けて取り組んでまいります。

【参考】

産学共同実用化開発事業（NexTEP）とは、独立行政法人科学技術振興機構が、大学などの研究成果に基づくシーズを用いて、開発リスクが高く規模の大きい開発を支援し、実用化を目指す技術移転支援事業です。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学産学連携本部 産学連携マネージャー やまぐち しげひこ 山口 茂彦
TEL：011-706-9554 FAX：011-706-9550 E-mail：yamaguchi@mcip.hokudai.ac.jp